



令和2(2020)年度

# 自治体におけるSNSの活用

近年、情報発信ツールとしてSNSを利用する自治体が増えていますが、一方で、その多くはSNSの特性を活かした運用にまでは至っていないのが現状です。

多様化するコミュニケーション手法を積極的に活用していくことが今後ますます必要となる中、SNSの種類やそれぞれの特徴、課題、どのように活用すれば住民の満足度の向上につながるかを学びます。

## 研修の ポイント

- ① 講義を通して自治体がSNSを活用する意義やその効果について学ぶ。
- ② 意見交換により、各自治体で抱えているSNS活用の課題について整理する。
- ③ 事例紹介により、SNSの活用によって課題を解決する方策を学ぶ。

## 開催要領

日程

令和2(2020)年6月1日(月)～6月3日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村等でSNSの活用に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,200円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年4月17日(金)まで

※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## ● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

6月  
1日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～14:30 **講義** 自治体におけるSNSの活用  
株式会社グローバルリンクジャパン 取締役 清水 将之 氏  
本研修の導入講義として、TwitterやFacebookなどのSNSを活用する自治体の現状を学び、SNSを活用する効果やコンテンツ作成のポイントについてお話しいただきます。
- 14:45～15:55 **講義** SNSの種類、特徴と利用時の注意点(マナーとリスク)  
一般社団法人SNSエキスパート協会 代表理事 後藤 真理恵 氏  
国内のSNS利用者・利用率の上昇に伴い、「炎上」をはじめとする様々なSNSトラブルも増加しています。「具体的にどんなSNSトラブルが起きているのか」、「何が原因か」を具体的に示すとともに、リスク回避のために必要な心構えや具体的な予防&対応策を体系的に学びます。
- 16:10～17:00 **意見交換** 事前アンケートをもとに、SNS運用における課題の共有と、積極活用に向けた議論を深めます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

6月  
2日(火)

- 9:25～10:35 **講義** ユーザーの心理から読み解くSNSのトレンドとその可能性  
株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 主任研究員 天野 彬 氏  
SNSの最新動向を研究している天野氏に、自著「シェアしたがる心理～SNSの情報環境を読み解く7つの視点～」、「SNS変遷史～『いいね!』でつながる社会のゆくえ～」に基づくユーザーの情報行動の変遷やSNSの利用実態についての分析をお話しいただき、自治体が今後どのように活用していけるかを考えます。
- 10:50～12:00 **講義** SNSの「中の人」の心得  
パイン株式会社 係長 マツキー 氏  
「自治体の顔」ともいえる公式アカウントによるSNSの活用は、住民とのコミュニケーションを図る上で優れたツールですが、投稿する際には注意しなければいけないことや心がけるべきことがたくさんあります。そこで、13万人以上のフォロワーを持つ企業公式SNSを運用しておられる、パイン株式会社係長マツキー氏に、「SNSの『中の人』の心得」をお話しいただきます。
- 13:00～16:00 **事例紹介**  
**「SNSで人を動かす! 葉山町のInstagramを3万人がフォローする秘密」**  
神奈川県葉山町政策財政部政策課  
**「"長野県防災ツイッター"は何が違うのか  
～台風19号に関する1200のツイートから～」**  
長野県危機管理部危機管理防災課  
**「LINEを活用した"One to One"の情報配信(仮)」**  
福岡県福岡市市長室広報戦略室広報課  
コーディネーター:株式会社情報文化総合研究所 代表取締役 佐藤 佳弘 氏  
SNSを活用している自治体の中から、特徴的な活用について実践事例を紹介いただき、講師を交えた意見交換を行います。
- 16:15～17:15 **演習導入** グループワーク  
株式会社情報文化総合研究所 代表取締役 佐藤 佳弘 氏  
SNSはすでに自治体業務の様々な分野で活用されています。AI、RPA、IoTとの連携により、その活用分野はさらに広がりつつあります。講義で学んだSNSの特性や留意点を踏まえて、グループワークにより自治体業務での新しい活用分野を探ります。
- 9:25～12:00 **演習** 発表、講評、まとめ  
株式会社情報文化総合研究所 代表取締役 佐藤 佳弘 氏  
演習成果を受講者間で共有し、講師から講評をいただきます。今後のSNSの活用について、さらに考えを深めます。
- 12:00～12:30 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

6月  
3日(水)